



Metals Focus – Precious Metals Weekly

貴金属ウィークリー 第76号 2024年5月16日

プラチナ

メタルズフォーカスによる2024年の予測は、供給不足幅は昨年より縮小

高い水準の地上在庫が供給不足を補い、価格は前年から大きく変わらずと予測

パラジウム

メタルズフォーカスによる2024年の予測は、供給不足は昨年より拡大

2024年全体の平均価格は、前年から23%下落している今の水準を供給不足がサポート

ロジウム

今年のロジウムの現物不足の問題は、需給見通しの不透明感と中国のガラス産業の在庫状況とでインパクトが薄く、今年の平均価格は前年比で28%の下落予測

『Platinum Group Metals Focus 2024』の発表

ロンドン・プラチナ・ウィークにて、毎年恒例の PGM 産業を網羅した『Platinum Group Metals Focus 2024』が発表され、2015年～2023年の需給データ分析と2024年の詳細な予測が明らかになった。

高い水準の地上在庫が供給不足でも価格に圧力

2023年はプラチナが1074ドル/オンス、パラジウムは1806ドル、ロジウムは高値の1万2250ドルで幕を開けた。どのメタルも供給不足であったにも関わらず、価格は大きく下落。プラチナは3月の米国の地銀危機を受けて、4月に1135ドルまで上がったが、地上在庫が多いことが重荷となってラリーは続かず、2023年度中もレンジに縛られた取引が続いた。パラジウムは短期筋が先物市場でショートポジションを増やしたため、価格に大きな圧力がかかった。ロジウムは、中国のガラスメーカーがロジウムからプラチナに切り替えたために大きく売られたことが主因となって、2月半ばから7月半ばにかけて大きく67%も値を下げた。

昨年はこの3つの PGM は供給不足でありながら、在庫の大量放出と自動車の電動化が進展したことが投資家心理に影響し、将来の PGM 需要に不安が広がった。しかし、自動車の電動化のスピードに対しては昨今、今後の予想を下方修正する見方も広がっているのも事実だ。

昨年の自動車の PGM 需要は、半導体不足問題が解消し、普通乗用車の生産回復に支えられて概ね堅調だった。メタルズフォーカス PGM部門のディレクター、Wilma Swarts は「特にプラチナはハイブリッド車のシェア増加とトラックとバスの増産に助けられた。」とコメントしている。

鉬山生産に関しては、鉬山運営の問題や低い PGM 価格などで収益が下がり、業界全体に鉬山閉鎖を含むコスト削減の動きが広がって厳しい状況だった。リサイクルも、スクラップヤード側で廃触媒を処理しないケースが増えたことや、法規制の問題、車両の利用期間が伸びるなどで供給が減った。

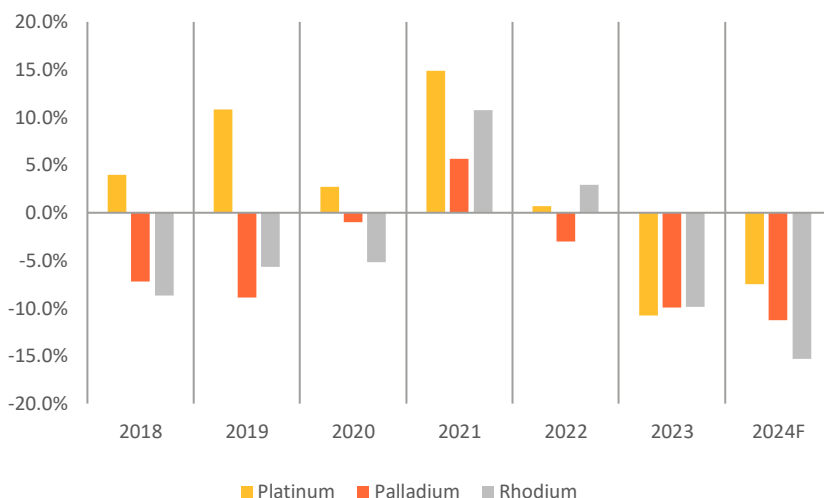
プラチナの工業需要は、ガラスと化学産業の生産規模拡大に支えられて、順風とは言えないながらも過去最高となるなど伸びが見られたが、パラジウムとロジウムは今までの高価格の影響で代替と節約の傾向が強まり需要が抑えられた。

2024年: プラチナの供給不足は続き、パラジウムとロジウムの供給不足も拡大

メタルズフォーカスのWilma は続けて、「2024年の展望としては、供給が伸びない中で需要が増え、3つのメタルはどれも再び供給不足となる。しかし在庫水準の高さが価格に対して圧力となるだろう。」とした。

今年のプラチナ価格は比較的安定した動きで平均 960ドル、昨年とほとんど変わっていない。自動車のプラチナ需要はハイブリッド車の伸びで、電気自動車の普及による需要減を補うだろう。しかし、昨年と違って化学とガラス産業の生産規模拡大は予定されておらず、工業需要は前年比でマイナス 15% となるだろう。

需要の割合としてのマーケットバランス



出典: メタルズフォーカス

パラジウムは、供給不足やショートセルのプレッシャーがおさまれば、一時的に価格が回復する可能性があるが、全般的には下落傾向となるだろう。過去24ヶ月間の電気自動車の普及率は伸び悩んでいるとはいえ、電動化への流れは止まるわけではないからだ。パラジウム価格がプラチナの水準にまで下がったとしても、現行モデルのガソリン車に使われているトリメタル触媒装置ではすでにパラジウムの代替としてプラチナを使う変更がなされているはずで、自動車のパラジウム需要は下落傾向から変わることない。全体としては、パラジウムの需要は基本的に減少するが、鉱山の減産による供給不足がその需要減の分を凌ぐ見込み。

対照的にロジウムの供給不足は需要の大きな変化によるものだ。市場では2年にわたってネットベースで売り戻しが続いた。しかし今年のガラス産業のロジウム消費は、ネットでポジティブに転じ、その供給はジンバブエのロジウム鉱山の生産量でカバーされるだろう。化学産業の需要も北米と中国の酢酸製造能力が拡大されて40%増える見込み。しかし、こういった需要予測と供給不足にも関わらず、工業ユーザーの多くは貸借や在庫を売るなどしており、ロジウムのスポット買いには活気がない。従って今年は、ファンダメンタルズは良好でこれまでも平均して高値圏を保っていたロジウム価格は、レンジ内に止まり平均で4750ドル近辺を推移するだろう。

PGM市場は、技術改革や世界経済が政治的に方向転換するなど岐路に立っていると見える。供給不足と堅調な需要が幾らかの安心材料とはなるが、電気自動車の普及、経済の先行き不透明感などが今後の不安要素だ。

メタルズフォーカスについて

メタルズフォーカスは世界屈指の貴金属コンサルティング会社。ゴールド、シルバー、プラチナ、パラジウムのマーケットリサーチを専門とし、定期的なレポートや需給及び相場予想、あるいは特定の要望に応じたコンサルティングを提供する。

メタルズフォーカスのレポートとコンサルティングは、高度なデータ分析と詳細な現地調査の両方をもとにしたリサーチに基づく。我々のアナリストは頻繁に主要マーケットに赴き、メーカーからエンドユーザーまで含めた関係者に取材をして直接入手した情報をレポートに役立てている。

『Platinum Group Metals Focus』について

『Platinum Group Metals Focus』はメタルズフォーカスの主なレポートの一つで、プラチナ、パラジウム、ロジウム市場に関する過去の詳細な需給データ、そしてその年の予測を網羅した分析を毎年5月に発表している。プラチナ、パラジウム、ロジウムの鉱山生産、リサイクル、自動車触媒と宝飾品、その他の分野の需要を含む詳細なファンダメンタルズを取り上げ、綿密な分析を行う。

『Platinum Group Metals Focus』はまた、個人投資家のインゴットとコイン需要、機関投資家の動きに関しても詳細な情報を掲載。巻末にはPGM 鉱山生産とコスト、価格、各取引所の動向と取引フローに関する詳細なデータがある。レポートはハードコピー、PDF形式のどちらでも入手可能である。

当レポートの購入は[こちら](#)

その他のレポート及びサービスに関しては、下記までご連絡ください。

Charles de Meester, Sales Director
charles.demeester@metalsfocus.com,
Tel: +44 (0)7809 125 334

Neelan Patel, Regional Sales Director
neelan.patel@metalsfocus.com,
Tel: +44 (0) 7783 448 891

